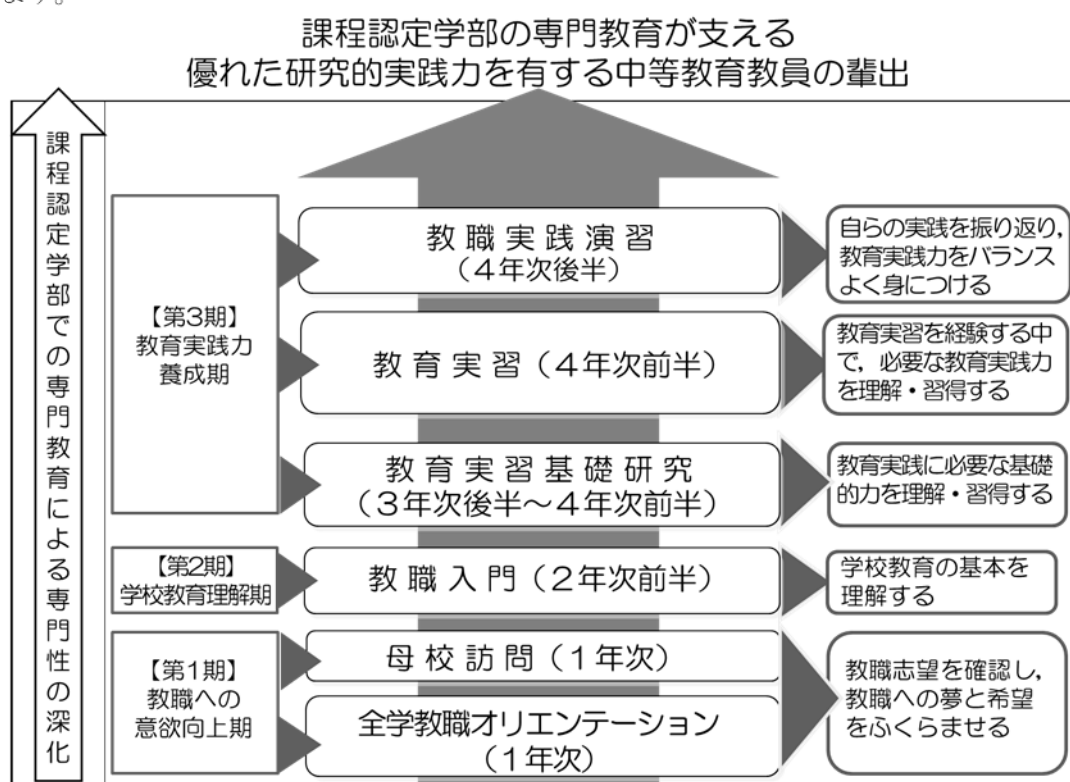


本学教職課程の構造

(1) 全学教職コア・カリキュラム

本学の開放制教職課程は、教育学部による「教員養成コア・カリキュラム」の研究成果を基にして、下図のように構造化しています。

まず、「全学教職オリエンテーション(1年次)」から「教職実践演習(4年次後半(3・4学期))」に至る部分が「全学教職コア・カリキュラム」です。これが全学教職課程の柱です。ここでは、1年次から4年次を3つの期に分け、それぞれ「ねらい」を設定しています。



第1期は、「教職への意欲向上期」です。1年次前半(1・2学期)に「全学教職オリエンテーション」で教職への志望を確認し、その後、母校訪問(又はスクールボランティア)に取り組み、教職への夢と希望をふくらませます。第2期は、2年次から3年次前半(1・2学期)の「学校教育理解期」です。ここでは2年次前半(1・2学期)の必修の教職科目である「教職入門DⅠ・DⅡ」で学校教育や教職の基本を理解します。第3期は、3年次後半(3・4学期)からはじまる「教育実践力養成期」です。ここでは、主に3つのことに取り組みます。第1に、「教育実習Ⅱ(教育実習基礎研究)」で4年次前半(1・2学期)に取り組む「教育実習ⅣまたはⅤ」の前に必要な基礎的教育実践力を理解し、習得します。第2に、「教育実習ⅣまたはⅤ」で学習指導や生徒指導など、様々な教育実践に取り組むことを通して自らの力量を育み、教育実習後には再び大学で「教育実習Ⅱ(教育実習基礎研究)」を履修し、自らの実践の意味づけを深めます。第3に、4年次後半(3・4学

期)の「教職実践演習」で自らの教育実習を振り返ったり、教職課程で学んだことを振り返ったりして、課題を発見し、不足している力を補い、教師力をバランスよく身につけます。このように本学では、学年ごとのステップを確実に歩いていくことで、教師力をつけていくことができます。

3つの期にはそれぞれコアになるプログラムや授業科目を配置していますが、教師力をバランスよく高めていくためには、これらの科目はもちろんのこと、全学教職課程の全ての科目で十分に学ぶことが必要です。

全学教職課程の科目は、様々な科目がありますが、その開講主体によって分けると①教養教育として開講している科目、②教育学部が開講している科目、③皆さんの所属学部が開講している科目、の3つから成り立っていると捉えることができます。この3つについて以下で確認しておきましょう。

(2) 教養教育として開講している科目

教育職員免許法上には「文部科学省令で定める科目」という区分があり、「日本国憲法」、「体育」、「外国語コミュニケーション」及び「情報機器の操作」に関する単位を修得しなければなりません。本学では、これらを教養教育科目として開講しています(学部・学科によっては、専門教育科目の場合があります)。これらの科目の単位は1・2年次のうちに修得するよう努めて下さい。

(3) 教育学部が開講している科目

教育学部が開講している科目は、主に教職教養に関する科目です。教育職員免許法上では、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」になります。教育学や心理学を基礎にしている科目です。ここで幅広く教職教養を深めて下さい。全学教職コア・カリキュラムの一つである「教職入門DⅠ・DⅡ」もこの中に含まれます。

また、実際に生徒の前に立ち、授業等の実践を行う教育実習や教育実習の事前事後指導科目である教育実習基礎研究などの授業もあります。教育実習は母校等で行うこととなりますが、教育実習基礎研究などは教育学部で履修します。これらは教育職員免許法上、「教育実践に関する科目」に区分されています。これらの科目は全て本学の全学教職コア・カリキュラムとして位置づけられており、教師力を高める上で特に重要となる科目と言えるでしょう。

なお、その他、教育学部が開講している科目(学部・学科によっては教育学部ではなく所属学部等で履修する場合があります)として教科の指導法に関する科目があります。これは教育職員免許法上では「教科及び教科の指導法に関する科目」として区分されているものです。教員の主要な仕事の一つとして教科指導は欠かすことのできないものです。しっかり学んでおきましょう。

(4) 所属学部が開講している科目

教育職員免許法上で「教科及び教科の指導法に関する科目」という区分がありますが、この中にある「教科に関する専門的事項」は、皆さんの所属学部が専門教育科目として開講しています。

例えば、文学部の皆さんで中学校・高等学校の英語の教員免許状の取得を希望している人は、「人文学概説（英語学 a）」や「人文学概説（英語学 b）」が「教科に関する専門的事項」のひとつに該当します。理学部の皆さんで中学校・高等学校の数学の教員免許状の取得を希望している人は、「確率・統計 a」や「確率・統計 b」が該当します。これらはほんの一例です。詳しくは、所属学部が発行している学生便覧やシラバスを参照し、事前によく確認してください。なお、シラバスには、「教職課程該当科目」という欄があります。

皆さんの強みは、各教科を成り立たせている学問について、各々の所属学部でしっかりと学び、研究的な実践力を磨いていることにあります。専門の学部で学んでいるからこそ、研究的な視点で教科書や資料の内容を分析し、教育効果の高い教材を自ら作成したりするなど、教科の面白さや豊かさを生徒に伝えられる教員としての礎を築くことができます。

(5) 「大学が独自に設定する科目」の履修について

教育職員免許法上の区分のひとつとして「大学が独自に設定する科目」があります。例えば、子どもに対する学習支援などの指導的体験を通して教育について学ぶ「フィールド・チャレンジ」などいくつかの科目が教育学部開講科目としてあります。他にどのような科目があるのかについては、シラバスや掲示板等で確認してください。

また、(3)、(4)で示した枠の必要最低単位数を超えて修得した単位を「大学が独自に設定する科目」にあてることもできます。例えば、「教育の基礎的理解に関する科目」の一つとして「人権・同和教育 B I・B II」があります。教員免許状を取得するために必要な「教育の基礎的理解に関する科目」の最低修得単位数は、本学では中学校・高校とも 11 単位です。この科目区分にある選択科目の「人権・同和教育 B I・B II」を積極的に履修し、単位を修得した場合、その単位は「大学が独自に設定する科目」が求める単位数にあてることができます。同様に皆さんの所属学部で「教科に関する専門的事項」の科目として使える専門教育科目についても、必要単位数を超えて修得すると、その単位は「大学が独自に設定する科目」の単位にあてることができます。

(6) 全学教職課程カリキュラムマップ

全学教職課程では、教員免許状取得に必要な科目として様々な科目を開講しています。各科目の開講時期と、本学が育てたい教師力との対応関係を図示したものが「全学教職課程カリキュラムマップ」です。このマップをもとに、4年間を通してどのように教職課程を履修していくか、具体的な見通しを持つとともに、個々の授業科目がどのような力を身につけることを意図しているのかを充分理解し、学びを深めてください。

なお、くれぐれも計画的な履修を心がけてください。確実に履修するためには、学部の必修科目との重複がない標準履修年次での履修を行い、単位修得していくこと（例：1年

全学教職課程カリキュラムマップ（文学部）

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1・2学期	3・4学期	1・2学期	3・4学期	1・2学期	3・4学期	1・2学期	3・4学期
	教職への意欲向上期		学校教育理解期		教育実践力養成期			
教育実践に関する科目							教育実習Ⅱ (教育実習基礎研究)	
全学教職コアカリキュラム	全学教職オリエンテーション	母校訪問	教職入門				教育実習	教職実践演習
教育の基礎的理解に関する科目		教育学概説 教育心理学概説 人権・同和教育	カリキュラム論	教育の制度と社会	特別支援教育の基本			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	特別活動論 総合的な学習の時間の指導法		教育方法論 生徒指導論		道徳教育論* 教育相談論 進路指導論			
教科及び教科の指導法に関する科目			中等国語科指導法（基礎、応用） 中等社会科指導法（基礎、応用）* 地理歴史科指導法（基礎、応用） 公民科指導法（基礎、応用） 中等英語科指導法（基礎、応用）		中等国語科指導法開発（基礎、応用）* 中等社会科指導法開発（基礎、応用）* 中等英語科指導法開発（基礎、応用）*			
所属学部での専門教育科目								

課程認定学部の専門教育が支える優れた研究的実践力を有する中等教育教員の輩出

※ 必修科目 選択科目 *は中学校免許取得の場合に必修となる科目を指します。

※正式な科目名称はシラバス等で確認すること。開講時期は年によって異なる可能性があります。取得する校種や教科によって履修すべき「教科及び教科の指導法に関する科目」は異なります。

※その他、教育学部が開講する授業で「大学が独自に設定する科目」で使用できる授業があります。

全学教職課程カリキュラムマップ（法学部）

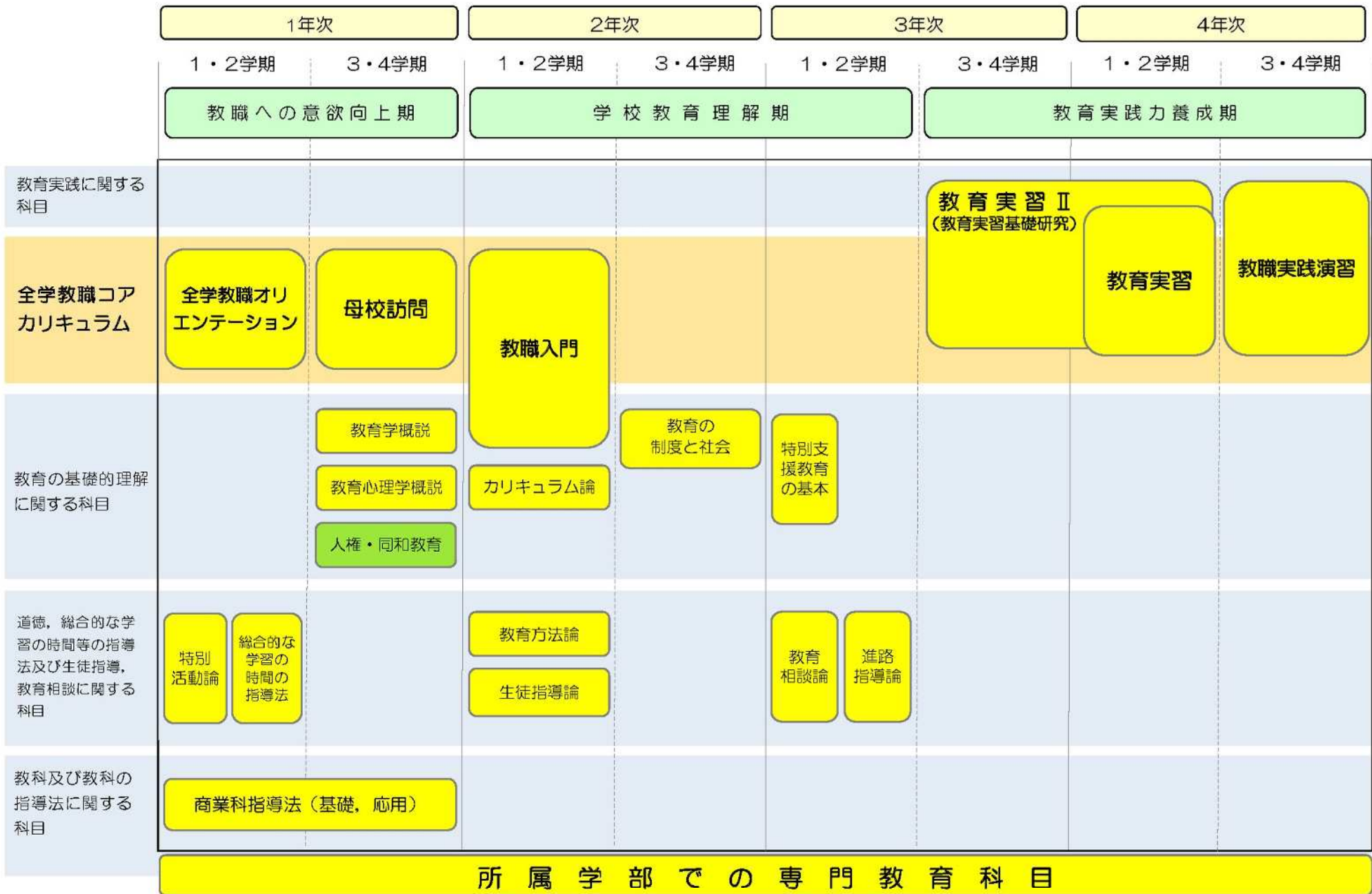


課程認定学部の専門教育が支える優れた研究の実践力を有する中等教育教員の輩出

※ 必修科目 選択科目

※正式な科目名称はシラバス等で確認すること。開講時期は年によって異なる可能性があります。取得する校種や教科によって履修すべき「教科及び教科の指導法に関する科目」は異なります。
 ※その他、教育学部が開講する授業で「大学が独自に設定する科目」で使用できる授業があります。

全学教職課程カリキュラムマップ（経済学部）

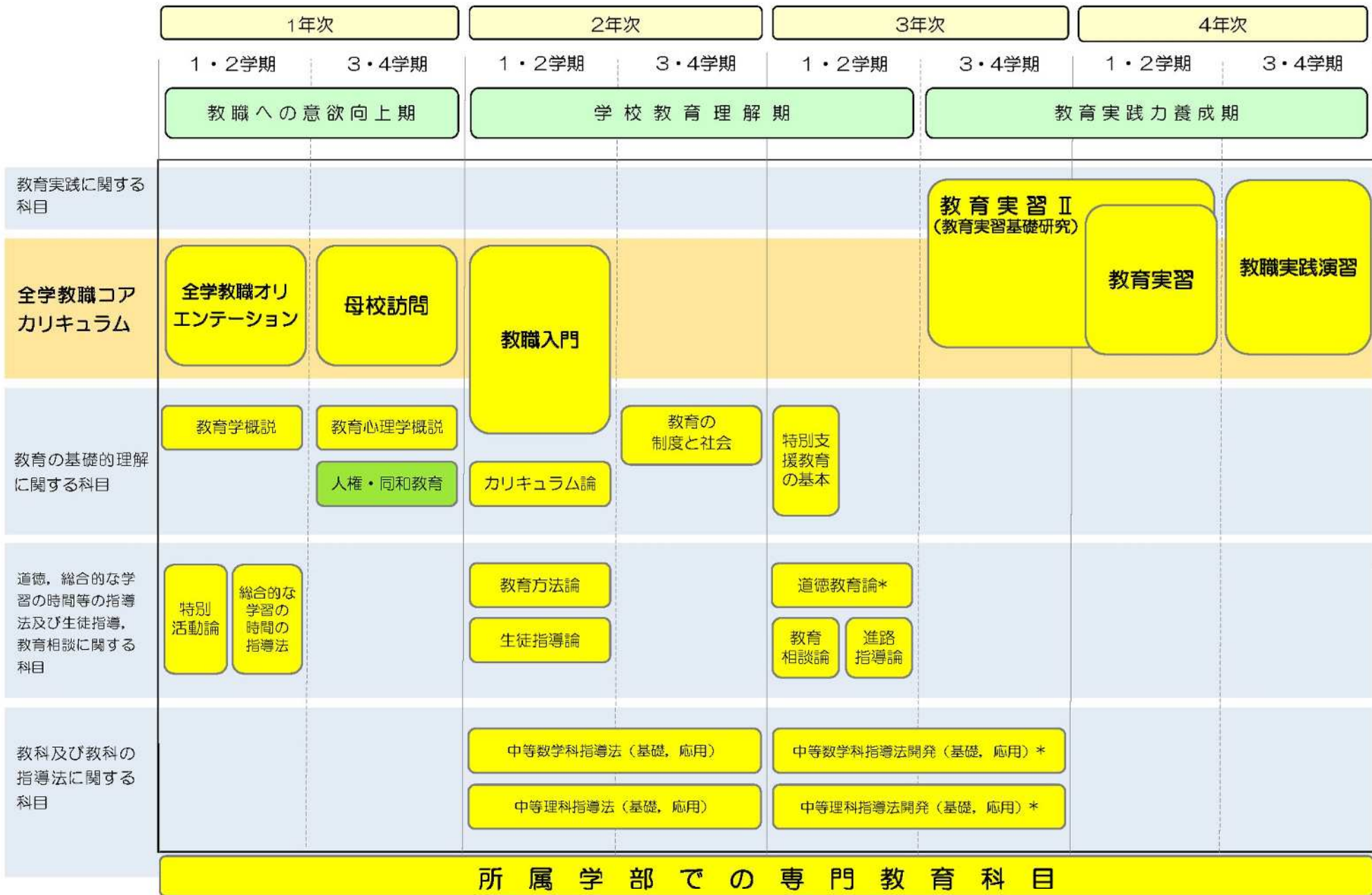


課程認定学部の専門教育が支える優れた研究の実践力を有する中等教育教員の輩出

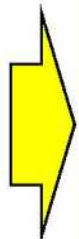
※ 必修科目 選択科目

※正式な科目名称はシラバス等で確認すること。開講時期は年によって異なる可能性があります。取得する校種や教科によって履修すべき「教科及び教科の指導法に関する科目」は異なります。
 ※その他、教育学部が開講する授業で「大学が独自に設定する科目」で使用できる授業があります。

全学教職課程カリキュラムマップ（理学部）



課程認定学部の専門教育が支える優れた研究的実践力を有する中等教育教員の輩出



※ 必修科目 選択科目 *は中学校免許取得の場合に必修となる科目を指します。

※正式な科目名称はシラバス等で確認すること。開講時期は年によって異なる可能性があります。取得する校種や教科によって履修すべき「教科及び教科の指導法に関する科目」は異なります。

※その他、教育学部が開講する授業で「大学が独自に設定する科目」で使用できる授業があります。

全学教職課程カリキュラムマップ（工学部）



課程認定学部の専門教育が支える優れた研究的実践力を有する中等教育教員の輩出

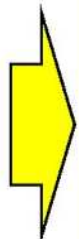
※ 必修科目 選択科目

※正式な科目名称はシラバス等で確認すること。開講時期は年によって異なる可能性があります。取得する校種や教科によって履修すべき「教科及び教科の指導法に関する科目」は異なります。
 ※その他、教育学部が開講する授業で「大学が独自に設定する科目」で使用できる授業があります。

全学教職課程カリキュラムマップ（環境理工学部）

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1・2学期	3・4学期	1・2学期	3・4学期	1・2学期	3・4学期	1・2学期	3・4学期
	教職への意欲向上期		学校教育理解期		教育実践力養成期			
教育実践に関する科目							教育実践力養成期	
全学教職コアカリキュラム	全学教職オリエンテーション	母校訪問	教職入門			教育実習Ⅱ (教育実習基礎研究)	教育実習	教職実践演習
教育の基礎的理解に関する科目		教育学概説 教育心理学概説 人権・同和教育	カリキュラム論	教育の制度と社会	特別支援教育の基本			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	特別活動論 総合的な学習の時間の指導法		教育方法論 生徒指導論		道徳教育論* 教育相談論 進路指導論			
教科及び教科の指導法に関する科目			中等数学科指導法（基礎、応用） 中等理科指導法（基礎、応用）		中等数学科指導法開発（基礎、応用）* 中等理科指導法開発（基礎、応用）*			
所属学部での専門教育科目								

課程認定学部の専門教育が支える優れた研究的実践力を有する中等教育教員の輩出



※ 必修科目 選択科目 *は中学校免許取得の場合に必修となる科目を指します。

※正式な科目名称はシラバス等で確認すること。開講時期は年によって異なる可能性があります。取得する校種や教科によって履修すべき「教科及び教科の指導法に関する科目」は異なります。

※その他、教育学部が開講する授業で「大学が独自に設定する科目」で使用できる授業があります。

全学教職課程カリキュラムマップ（農学部）



課程認定学部の専門教育が支える優れた研究的実践力を有する中等教育教員の輩出

※ 必修科目 (黄色) 選択科目 (緑)

※正式な科目名称はシラバス等で確認すること。開講時期は年によって異なる可能性があります。取得する校種や教科によって履修すべき「教科及び教科の指導法に関する科目」は異なります。
 ※その他、教育学部が開講する授業で「大学が独自に設定する科目」で使用できる授業があります。